

15年のあゆみとこれから

がん対策

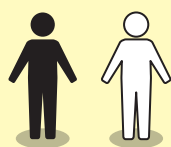
岡山市の

平成23年3月、岡山市の死亡原因の約3割はがんであり、予防、早期発見、在宅医療などがん対策を講じるため、「岡山市がん対策推進条例」を制定、「岡山市がん対策推進委員会」を設置しました。

令和7年度、条例制定15年を迎え、これまでの岡山市のがん対策を振り返り、今後5年の主な取組をまとめました。

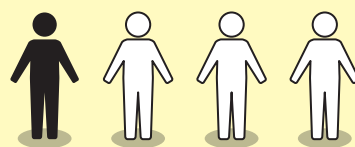


がんと診断 約2人に1人



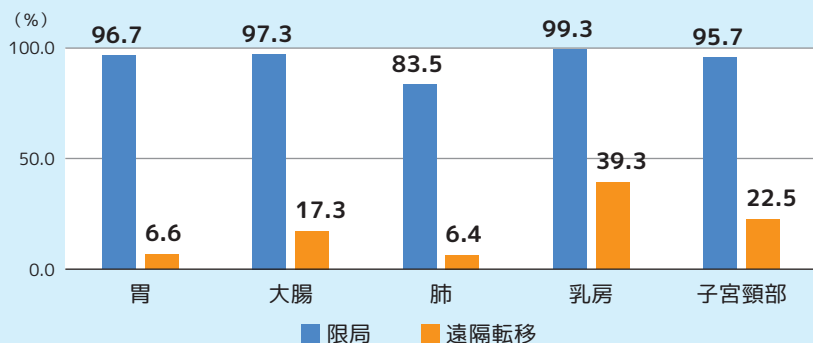
出典：がん情報サービス「最新がん統計（2023年）」

がんで死亡 約4人に1人



出典：厚労省「令和6年人口動態統計月報年計（概数）の概況」

5年相対生存率



出典：がん情報サービス「地域がん登録によるがん生存率データ」（1993-2011年診断例（5年相対生存率））

※限局：診断時、原発臓器に限局している。遠隔：診断時、遠隔臓器、遠隔リンパ節などに転移・浸潤あり。
※乳房は女性のみ。

医療の進歩に伴い5年相対生存率は上昇し、早期がん（ステージⅠ）であれば約90%となりました。

がん患者さんの約3人に1人は20代から60代でがんになり患し、仕事を持ちながら通院している人が多いです。

がんは身近な病気であり、がんとともに生きる時代です。



岡山市がん対策推進条例

目的

市民ががん患者となってもお互いに支え合い、安心して暮らすことのできる地域社会の実現。

責務

保健医療関係者

がんの予防
良質・適切ながん医療
がん情報の提供

市民

がんの正しい知識
がんの予防
がん検診受診

岡山市

保健医療関係者、がん患者等の団体と連携し、本市の特性に応じたがん対策施策を策定、実施

がん対策の4本柱

がんの予防

早期発見の推進

緩和ケア・在宅医療の推進

がんとの共生

がんについて正しい知識をもち、がんになってもお互いに支え合い、安心して暮らすことのできる岡山市を目指します

令和3年度～令和7年度の主な取組

早期発見の推進

主な取組	成果	今後の取り組み
大学生との子宮頸がん検診受診率向上プロジェクトの実施	20代で急増する子宮頸がんについて大学生とともに体験談を聞き、若い人にも手に取ってもらえるチラシを作成し普及啓発	受診率の動向を確認し、データに基づき、ターゲットを絞ったアプローチを実施する
企業向けがん対策啓発チラシの作成、セミナーの実施	40代から増加するがんについて知ることで、定期的ながん検診受診を促進	

子宮頸がん検診受診率向上プロジェクト

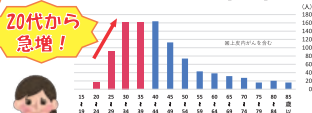


同世代のみんなに
子宮頸がん検診を受けてほしい！
チラシを作成して配布しよう！
土日や夕方は受けやすいかも！

関係ないと思わないで！ 子宮頸がん検診



子宮頸がんが発見された人の割合【岡山市】(人口287,179人)



子宮頸がんは、
一度でも性交渉の経験があれば誰でも
かかる可能性がある病気です。
必ずがん検診を受けましょう！

検診は
20歳から
女性スタッフ対応の検診機関もあります。詳しくはこちら

子宮頸がん検診受診率向上
プロジェクト作成チラシ

がんと共生

主な取組	成果	今後の取り組み
アピアランスサポート事業開始（ウィッグ、乳房補整具の購入費助成）	362件助成（令和7年度）	相談先、事業の周知啓発
治療と仕事の両立支援の周知啓発	企業向けセミナーの実施、メルマガでの周知啓発	企業に向けた普及啓発



企業向けがん対策啓発チラシ

がんを告知され、取り残されたような気持ちになっていたが、アピアランスサポート事業を知り、寄り添ってくれているように感じ、とてもうれしかった。

（出典）アピアランスサポート事業アンケート自由記載より

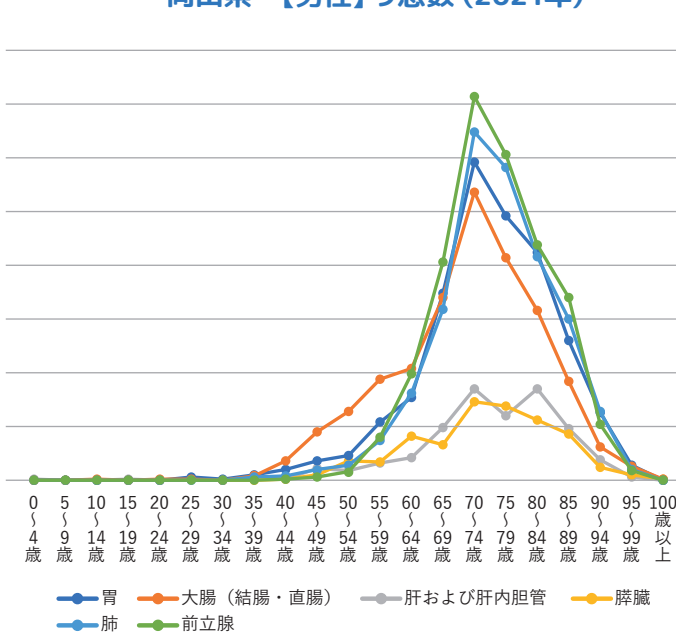


り患者数※とがん検診受診率

【男性】り患者数

40代から増加し、70代にピークとなる

岡山県 【男性】り患者数（2021年）

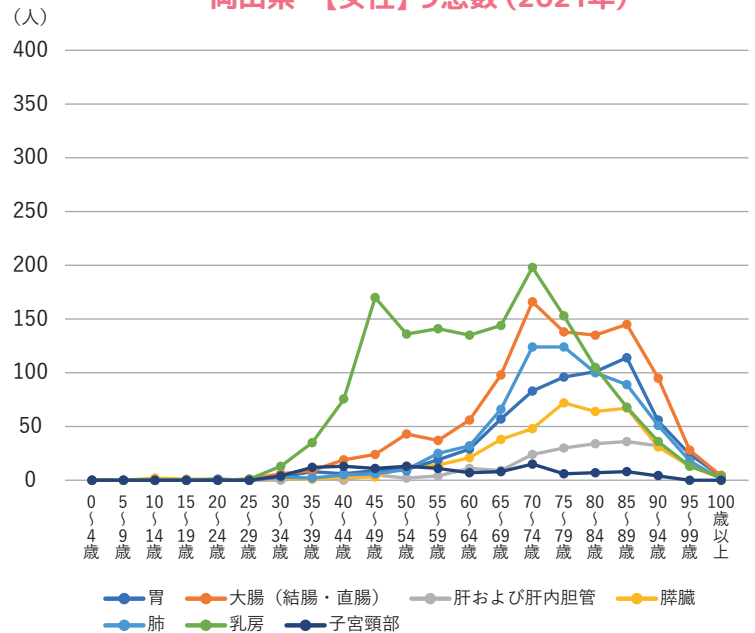


【女性】り患者数

乳がん：40代、70代で増加

子宮頸がん：20代から増加し、40～50代がピーク

岡山県 【女性】り患者数（2021年）

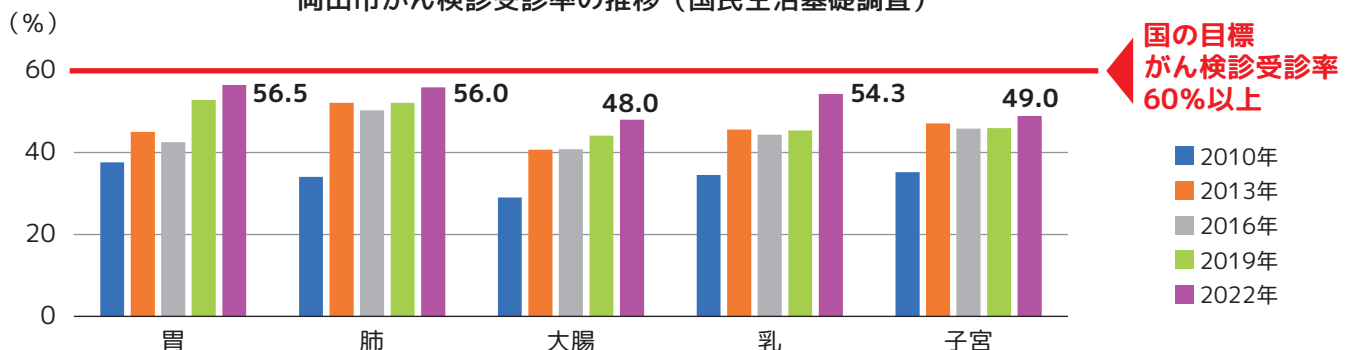


※岡山県に住所を有する者（外国人を含む）で、2021年1月1日から2021年12月31日までの間に、がんと診断された者

（出典）岡山県におけるがん登録2021

がん検診受診率は目標の60%に達しておらず、特に大腸がん検診の受診率が低い

岡山市がん検診受診率の推移（国民生活基礎調査）



（注）2010年：対象年齢は子宮20歳以上、その他40歳以上。乳・子宮は過去2年の受診歴／2013年：対象年齢は子宮20～69歳、その他40～69歳。乳・子宮は過去2年の受診歴
2016年以降：子宮20～69歳、肺・大腸・乳40～69歳、胃50～69歳。胃・乳・子宮は過去2年の受診歴

岡山市がんと対策

今後5年間の主な取組（令和8年度～令和12年度）

がん対策の4本柱を継続

がんの予防

- 目標：がん検診受診率60%
- ターゲットを絞った受診勧奨・普及啓発
- 職域との連携による受診勧奨

★重点★

早期発見の推進

緩和ケア・在宅医療の推進

★重点★

がんとの共生

- がん相談センター、がん患者会の周知
- アピアランスサポート事業の実施
- 治療と仕事の両立支援の周知

受けよう

がん検診

～知っておきたいこと～

まずはここから！

早期発見・早期治療につながる 5つのがん検診



胃がん

50歳代から増加。
胃内視鏡検査（胃カメラ）を1度は受診しましょう。

肺がん

50歳代から増加。
喫煙は危険因子のひとつ。喫煙していない人でも肺がんになることがあります。年1回は受診しましょう。

大腸がん

40歳代から増加。
喫煙、飲酒、肥満等により発生する危険性が高まります。
問診と便を採取するだけの手軽な検査です。

乳がん

30歳代後半から50歳代に増加。
定期的な検診受診と日常生活では、乳房を意識する生活習慣「ブレスト・アウェアネス」を心がけ、変化を感じたら速やかに受診しましょう。

子宮頸がん

20歳代後半から40歳代に増加。
HPVワクチン接種による予防と20歳からは定期的に検診を受診しましょう。

がん検診の結果、精密検査を勧められたら、
早めに受けましょう！
早期発見のチャンスです！

がん検診の受診方法

- ①職場の健康診断や人間ドックとセットで受診する
- ②①でがん検診を受ける機会がない方は、お住まいの市町村でがん検診を受診する
岡山市では、毎年6月～12月に医療機関での個別受診や集団検診等の方法で受診可能

詳しくは、5月下旬に各戸配布される「けんしん・予防接種ガイド」や岡山市ホームページをご確認ください。



◀岡山市
がん検診

ひとくちメモ

岡山早期肺癌プロジェクト「MOMOTAROプロジェクト」

すい臓がんは、早期発見が難しく、治りにくいがんのひとつ。危険因子を複数お持ちの方がかかりつけ医に相談し、早期発見・早期治療に結びつける取り組みを岡山大学病院、かかりつけ医、中核病院が連携し開始しています。まずは、かかりつけ医に相談しましょう。

【危険因子】☐親子・兄弟がすい臓がん ☐喫煙 ☐飲酒 ☐糖尿病
☐肥満 ☐慢性すい炎などすい臓の病気がある

がんに関する情報はこちらから



岡山市
がん対策



国立研究開発法人
国立がん研究センター
がん情報サービス